

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン平塚松風町新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県平塚市松風町277番	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	132人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年7月19日
敷地面積	1,259 m ²	作成者	株式会社 ネットイノベーション一級建築士事務所
建築面積	782 m ²	確認日	2021年7月19日
延床面積	3,015 m ²	確認者	株式会社 ネットイノベーション一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。 断熱等性能4等級相当の計画とし省エネルギーに配慮している。		0
Q1 室内環境 断熱等性能4等級相当の計画とし外皮性能に配慮。 F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	Q2 サービス性能 躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。 適切な量の駐車場を設置して交通負荷抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される